

教育委員会委員が任命されました

上野敬蔵委員の任期満了に伴い、議会の同意を得て、加瀬博幸氏が任命されました。



加瀬 博幸氏

8/17 株式会社カスミと「地域の見守りと買い物支援活動の推進に関する協定」を締結

この協定は、町と株式会社カスミが協力し、町内で移動販売をはじめとした買い物支援策を実施することにより、買い物に困難を感じている高齢者等を支援するとともに、見守り活動を推進するものです。



左から伊神執行役員、佐藤町長

10月から開始

認知症などで徘徊する恐れのある高齢者等に「見守りシール」を配布します

高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らし続けることができるように地域全体で見守り支える体制づくりの取り組みを実施しています。見守りネットワーク(※)に加え10月からは、行方不明になる可能性のある認知症高齢者等を早期に発見・保護する取り組み「どこシル伝言板」が始まります。

どこシル伝言板とは？

認知症等で行方不明になった際、衣服等に貼ったQRコードがスマートフォン等で読み取られると、保護者へ瞬時に発見通知メールが届きます。発見者はQRコードを読み取ると、ニックネームや注意すべきことなど対処方法がわかるので安心です。発見者と家族などがインターネット上の伝言板を通してやりとりできます。

**配布枚数** 1人あたり30枚(アイロンで衣類などに貼る耐洗シール20枚、バックや持ち物に貼る蓄光シール10枚)  
**費用** 無料

**対象者** 認知症などにより行方不明になる恐れのある高齢者等  
※「高齢者見守りネットワーク事業」に登録していただき地域の協力を得られるよう態勢を整えます。  
※ご利用には申請・登録が必要です。福祉課介護班または、地域包括支援センター(高齢者支援・介護相談)へご相談ください。



※高齢者見守りネットワークとは？

定期的に高齢者とかかわりを持つ民間事業者のみなさんに「協力事業者」としてご登録いただき、日常の業務中にさりげない見守りをお願いしています。徘徊のおそれがある高齢者の情報を「事前登録簿」によりあらかじめ町に登録し、行方不明になったときには早期発見ができるように協力事業者と相互に連携を図っています。

☎福祉課介護班 ☎84-1257  
地域包括支援センター ☎80-3339